

◆優良賞◆

「」の夏見た景色

勝原小学校 六年

三木 吏 冨

今年の夏休み、ぼくは正直最悪な夏休みだと思っていました。休みに入
ってすぐにカゼをひいて中耳炎になるし、お父さんの休みは短いし、台風
のえいきょうで雨ばかりでどこへも出かけることができなかつたからです。
ところが急きよ、宮城県に行くことになりました。宮城県はぼくのおじ
いちゃんのいなかです。ぼくは会ったことがないひいおじいちゃん・ひい
おばあちゃんのお墓参りに行きました。

そこで、今年の夏、一番のわすれられない貴重な経験をしました。

ひいおじいちゃん達のお墓から、大川小学校が近いんだよ！と聞いて行
くことになりました。

みなさんは宮城県の大川小学校を知っていますか？いや、覚えていま
すか。

二〇一一年三月十一日、東日本大震災の津波で多くのぎせい者が出てし
まつた小学校です。七十名以上の児童が亡くなり、十年以上たつた今でも
行方不明の方がいるそうです。その大川小学校が「震災遺構」としてその
ままの状態に残されていました。

ぼくは車を降りて近くまで行った時、

「うわー！」

としか言葉が出ませんでした。

校舎の中のコンクリートの下の鉄パイプがむき出しになっていたり、一
番おどろいたのは、体育館からのわたりろう下のものでごく太いコンクリ
ートでできた柱が折れ曲がっていたことです。津波でねじりたおされてい
ました。あんなに太い柱が折れるなんて絶対に起こらないと思っていただけ
ど実際に起きてそのまま残されていました。

震災のことはよくわかっていなかったけど、津波がきたということは知
っていて、でもこんなにい力があるとは知らなかったからすごくびっくり
しました。そして、津波は海で起きるのではないの？と、ずっとぎ間に思
っていました。それは、大川小学校の前は海ではなく川だったからです。
海までもそんなに近いわけではないそうです。海の近くじゃなくても津波
のひ害に遭うのかとまたびっくりしました。

ぼくは今回行ってみて、すごいことが起きたんだなあとということと、ぼ
くと同じ小学生がぼくが想像する何百倍ものこわい思いをしたんだなあと
いうことを知りました。

ぼくはこの夏見た宮城での景色を一生わすれません。

最悪な夏休みが一生わすれられない夏休みになりました。